

<編集後記>

人間の予測と自然動態

本誌12月号のお届けが新年一月になりますこととお詫びしつつ、新年のご挨拶を申し上げます。会員のみなさまには本誌をご愛読いただき、また本会運営にご協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて昨年のKONCの活動は誠に活発なものでした。2013年6月号本誌の特集は「中池見湿地の保全と新幹線建設問題」および「国内希少野生動植物種アユモドキの保全」でしたが、本会では関係機関に自然保護に関する要望書などを提出致しました。2013年10月には中池見湿地の問題を再び取り上げ、生態学会近畿地区会とKONC主催で現地シンポジウムを開催しました。本号では、シンポジウム「中池見湿地の保全と北陸新幹線ルート変更問題」にご講演いただいた研究者のみなさまに、生態学、地学および水文学分野からの研究報告をいただきました。これらの研究報告は、中池見湿地の重要性はもとより、湿地生態系にもたらす新幹線建設の影響が予測不可能な危険性を含むものであることを示唆しています。

視点は少し異なりますが、人間の予測をはるかに超える大規模自然災害の発生とその影響の甚大さは、2011年3月に東日本大震災で日本と世界が経験したことです。その後、2011年秋に発生した紀伊半島大水害での深層崩壊、2013年秋の台風18号の大水害など、近年、人間の予測を上回る災害が頻発している感があります。国土交通省の資料によると、深層崩壊は明治以降、122事例あり、とくに中央構造線より南のエリアで多く発生しているようです。自然攪乱によって生じる生物群集や生態系の変動をとらえることは、今後、人間の暮らしとも関連してますます重要になるだろうと思われます。今号に自然攪乱と生物群集の変動を捉えた原著論文が掲載されていますが、そうした視点に立つ情報はまだまだ不足しています。

2013年10月に東北地方太平洋側の海岸を1年ぶりに訪れ、林野庁がクロマツ苗の植栽事業を積極的に進め、国土交通省があらたな防潮堤を着々と築いている現場を視察することができました。砂浜後背地の森林では外来種ニセアカシアが、砂浜では外来種オニハマダイコンが繁殖していましたが、その一方、砂浜ではオカヒジキ、ハマニガナ、ウンランなどの地域本来の植生が回復していました。旧堤防や後背地ではクロマツの実生や萌芽が生育し、オミナエシ、カワラナデシコなどの開花を確認することができました。これらを埋め立てて堤防をあらたに築く必要があるのか、人の営みを取り戻しながら、人の安全な暮らしと生態系保全の道筋を示すことはなかなか難しいことだと感じます。

さて、今号は特集のほかに、現代的課題に応える良質な研究論文4報が掲載されています。若い研究者シリーズは北海道大学立澤氏の興味深いエッセイです。巻頭言および特集では会員外のみなさまにもご寄稿いただきました。本号発刊に際してご協力いただいたみなさまに厚くお礼申し上げます。会員のみなさまには、良き一年となりますことを心より祈念申し上げます。(前迫ゆり)

2013年度発刊の35巻1号および2号において、編集委員以外につきのみなさまに査読いただきました。記して深くお礼申し上げます。

上原一彦氏(大阪府水生生物センター)、高久宏佑氏(環境省自然環境局 生物多様性センター)、山城考氏(徳島大学)、山西良平氏(大阪市立自然史博物館)

関西自然保護機構

名誉会員

千地 万造 宮本 憲一

会長

石井 実

副会長

山西 良平

運営委員

上原 一彦	奥平 敬元	角野 康郎	神崎 護	熊井 久雄
佐久間大輔	布谷 知夫	野寄 玲児	平井 規央	前迫 ゆり
村上 興正	和田 恵次	和田 岳		

編集委員会 (*委員長, **副委員長)

奥平 敬元	角野 康郎	神崎 護**	幸田 正典	高柳 敦
立澤 史郎	布谷 知夫	原田 泰志	平井 規央	藤井 伸二
前迫 ゆり*	山倉 拓夫	和田 岳		

会計監事

原田 泰志 森本 幸裕

事務局長

山西 良平

事務局員

大久保その子

関西自然保護機構への入会希望，その他のお問い合わせは，事務局までお願いいたします。

お 願 い

1. 本機構では会誌の他に「KONCニュース」を年若干回発行しています。
各地の自然保護に関するニュースを2000字以内でお寄せ下さい。
2. 本機構では，次のものについて原則として発表先を問わず業績番号をつけることにしましたのでご協力下さい。
 - 1) 本機構が事業として行った調査研究成果
 - 2) 本機構が助成金を交付した調査研究成果
 - 3) 会誌その他，KONC出版物に掲載した調査研究論文
 - 4) 上記研究から派生して得られた結果，あるいは会員が業績番号を付した方がよいと判断されたもの本機構の出版物以外に投稿された場合の業績番号を入れる位置は，各出版物の規定に従ってください。ただし，和・欧文とも下記の表現をお使い下さい。
関西自然保護機構業績 第 号
Contribution from Kansai Organization for Nature Conservation,
no. _____
番号はその都度，編集委員会にお問い合わせ下さい。
3. 投稿規程は，会誌の奇数号に掲載します。

目 次

表紙の言葉 袋状埋積谷としての中池見	宮本真二
巻頭言	
都市域における地域環境資源の保全	矢持 進 89
特集 中池見湿地の保全と北陸新幹線ルート変更問題	
フィールドシンポジウム「中池見湿地の保全と北陸新幹線ルート変更問題」を開催して	岩崎敬二 93
中池見湿原堆積物の花粉化石からみた最終氷期以降の植生変遷	宮本真二 95
新幹線ルートと中池見湿地の水生植物－危惧される影響	角野康郎 103
山地源流域の山体地下水が雨水の流出に果たす役割	小杉賢一朗 105
チョウ類群集から見た中池見湿地の植生の変化	石井 実 111
原著	
兵庫県宝塚市西谷地区における準絶滅危惧種スズサイコ <i>Vincetoxicum pycnostelma</i> Kitag. の繁殖特性及び訪花昆虫相	中濱直之・丑丸敦史・井鷲裕司 115
紀伊半島 3 河川における十脚甲殻類の分布－2011 年台風 12 号による大洪水後の経時変化－	田中薫子・浜崎健児・山田 誠・青木美鈴・遊佐陽一・和田恵次 125
短報	
香川県小豆島における淡水魚類相と現状	井藤大樹・細谷和海 141
カワバタモロコ当歳魚の性成熟	吉村元貴・青木 隆 149
報告	
自然へのアプローチ－今、若い研究者がとりくんでいること－17	
地域社会の課題として野生動物保全に取り組む－“ねじれ”が生み出す Human Dimensions 研究－	立澤史郎 155
編集後記	167

CONTENTS

COVER PICTURE

Miyamoto, S.: Naka-Ikemi as "Waste-filled Valley".

KONC SAYS

Yamochi, S.: Preservation of local environmental resources in the urban area. 89

FEATURES: Conservation of Nakaikemi Wetland and construction of the Hokuriku-Shinkansen.

Iwasaki, K.: Comments on the field symposium "Conservation of Nakaikemi Wetland and construction of the Hokuriku-Shinkansen". 93

Miyamoto, S.: Vegetational changes since the Last Glacial from the pollen influx in Naka-Ikemi moor, Central Japan. 95

Kadono, Y.: Threat to aquatic plants of Nakaikemi Wetland caused by the Shinkansen construction. 103

Kosugi, K.: Role of bedrock groundwater in rainwater discharge processes at a headwater catchment. 105

Ishii, M.: Vegetation change from the view point of butterfly assemblage in the Nakaikemi Wetland, Japan. 111

ORIGINAL ARTICLES

Nakahama, N., Ushimaru A. & Isagi, Y.: Reproductive traits and flower visitors fauna of *Vincetoxicum pycnostelma* Kitag. in Nishitani area of Takarazuka City, Hyogo Prefecture. 115

Tanaka, K., Hamasaki, K., Yamada, M., Aoki, M., Yusa, Y. & Wada, K.: Temporal change in the distribution of decapod crustaceans prior and posterior to catastrophic flooding by a typhoon in 2011, in three rivers of the Kii Peninsula, western Japan. 125

SHORT COMMUNICATIONS

Ito, T. & Hosoya K.: The freshwater fish fauna and current status of the Shodoshima Island, Kagawa Prefecture, Japan. 141

Yoshimura, M. & Aoki, T.: Sexual maturation of yearling Golden venus chub *Hemigrammocypripis rasmorella*. 149

REPORTS

Tatsuzawa, S.: Approach to Nature -The ambition and reality of young researchers- 17. Approaches of young scientists for Human Dimensions studies as regional issues. 155

EDITORIAL NOTES 167

地 域 自 然 史 と 保 全 35 巻 2 号 (通算 66 号) 2013 年 12 月 31 日 発行
 編集発行人 関西自然保護機構
 事 務 局 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪自然史センター 気付
 TEL 06-6697-6262 FAX 06-6697-6306
 振替口座 00990-2-16679
 編集事務局 〒574-8530 大阪府大東市中垣内 3-1-1
 大阪産業大学大学院人間環境学研究科 (前迫研究室) 気付
 TEL 072-875-3001 FAX 072-871-1259
 印 刷 所 光栄堂印刷株式会社